

## ○ 講演会

### 講演会2014年実績

日程	テーマ/講師
1月17日(金) 15:00~16:30	『 <a href="#">新株価指数『JPIX日経インデックス400』について</a> 』 田中 大介 氏 東京証券取引所 情報サービス部 商品運用企画グループ グループ長
1月29日(水) 16:00~17:30	『 <a href="#">コモンズ投信の投資についての考え方~ガバナンスの視点を交えて</a> 』 渋谷 健 氏 コモンズ投信 取締役会長
2月3日(月) 15:00~16:30	『 <a href="#">日立の経営改革とコーポレート・ガバナンス</a> 』 川村 隆 氏 日立製作所 取締役会長
2月20日(木) 6:00~17:30	『 <a href="#">役員が知っておきたい国際カルテルリスクへの対応策</a> 』 内海 英博 氏 TMI総合法律事務所 パートナー弁護士・米国弁護士・公認会計士・米国公認会計士
2月26日(水) 16:00~17:30	『 <a href="#">第一三共の企業理念と企業価値創造~IRの視点から</a> 』 近藤 成径 氏 第一三共 コーポレートコミュニケーション部IRグループ長
3月10日(月) 16:00~17:30	『 <a href="#">アベノミクス 光と影</a> 』 滝田 洋一 氏 日本経済新聞社 編集委員
3月13日(木) 19:00~20:30	『 <a href="#">ビジネスパーソンが知っておくべき企業秘密~企業と個人はどう対処すべきか</a> 』 服部 誠 氏 阿部・井窪・片山法律事務所 パートナー弁護士
3月25日(火) 16:00~17:30	『 <a href="#">『生きがい創造業』としてのルネサンスの事業戦略</a> 』 堀田 利子 氏 ルネサンス 取締役専務執行役員 総務人事本部長
4月4日(金) 15:00~17:00	『 <a href="#">トヨタ対VW(フォルクスワーゲン)—2020年の覇者をめざす最強企業—</a> 』【著者シリーズ】 中西 孝樹 氏 ナカニシ自動車産業リサーチ 代表
4月23日(水) 16:00~17:30	『 <a href="#">投資家から見たコーポレート・ガバナンス~ストーリーのあるガバナンス</a> 』 井口 譲二 氏 ニッセイアセットマネジメント 株式運用部 コーポレート・ガバナンス・オフィサー
5月9日(金) 16:00~17:30	『 <a href="#">日本の成長を支える投資ファンドへ~日本証券業協会長からの転身</a> 』 安東 俊夫 氏 ウイズ・パートナーズ 代表取締役社長CEO 元日本証券業協会 会長
5月19日(月) 15:00~16:30	『 <a href="#">ライフネット生命保険の挑戦とガバナンスシステム</a> 』 出口 治明 氏 ライフネット生命保険 代表取締役会長兼CEO
5月26日(月) 16:00~17:30	『 <a href="#">企業がリスクテイクしやすい環境整備を考える~ドイツの企業統治改革に学ぶ</a> 』 木下 信行 氏 日本銀行 理事
6月2日(月) 16:30~18:00	『 <a href="#">丸紅の企業価値向上経営への取り組み</a> 』 矢部 延弘 氏 丸紅 執行役員 経営企画部長
6月13日(金) 15:00~17:00	『 <a href="#">セブン&amp;アイHLDGS.9兆円企業の秘密-世界最強オムニチャネルへの挑戦</a> 』 朝永 久見雄 氏 セブン&アイホールディングス 代表取締役社長 大阪大学大学院経済学研究科 非常勤講師

6月20日(金) 14:00～16:00	『 <a href="#">東アジアの安全保障～尖閣問題の緊迫化等～</a> 』 孫崎 享 氏
7月1日(火) 16:00～17:30	『 <a href="#">最近の朝鮮半島情勢</a> 』 高野 紀元 氏 伊藤忠商事 顧問、元韓国大使
7月7日(月) 16:00～17:30	『 <a href="#">経団連一落日の財界総本山</a> 』 安西 巧 氏 日本経済新聞社 企業報道部 編集委員
7月15日(火) 16:00～17:30	『 <a href="#">公認会計士監査と公認会計士・監査審査会－コーポレート・ガバナンスの観点から</a> 』 千代田 邦夫 氏 公認会計士・監査審査会 会長
7月24日(木) 14:00～15:30	『 <a href="#">日中関係と日本のこれから～日本企業の進路</a> 』 丹羽 宇一郎 氏 前・伊藤忠商事社長・会長、前・特命全権中国大使
9月2日(火) 16:00～18:00	『 <a href="#">新規産業創出の試み路</a> 』 村井 勝 氏 TXアントレプレナーパートナーズ 最高顧問・ファウンダー
9月12日(金) 16:00～17:30	『 <a href="#">第三者委員会とコーポレート・ガバナンス</a> 』 久保利 英明 氏 第三者委員会報告書格付け委員会 委員長 日比谷パーク法律事務所 代表パートナー 弁護士
9月30日(火) 16:00～17:30	『 <a href="#">医療関係機関の不祥事にみるガバナンス～理研、タケダ、ノバルティスの事例に学ぶ</a> 』 上 昌広 氏 東京大学医科学研究所 先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携研究部門 特任教授
10月10日(金) 16:00～17:30	『 <a href="#">上場会社としてのJPXの戦略とコーポレート・ガバナンス</a> 』 多賀谷 彰 氏 日本取引所グループ 広報・IR部長
10月17日(金) 16:00～17:30	『 <a href="#">森ビルの街づくり～都市をつくり都市を育む～</a> 』 河野 雄一郎 氏 森ビル 取締役常務執行役員 都市政策企画室・秘書室・広報室担当
10月22日(水) 16:00～17:30	『 <a href="#">私の半生～客室乗務員から弁護士、そして社外役員へ</a> 』 志賀 こず江 氏 白石綜合法律事務所 パートナー・弁護士
10月30日(木) 16:00～17:30	『 <a href="#">メディアにガバナンスはあるのか？～朝日新聞社の2大誤報炎上問題で現役ジャーナリストが問う</a> 』 牧野 義司 氏 経済ジャーナリスト、メディアオフィス「時代刺激人」代表
11月7日(金) 16:00～17:30	『 <a href="#">グローバル時代の危機管理：鍵を握る内部調査</a> 』 ポール・ワイズ・リフキンド・ワートン・ギャリソン外国法事務弁護士事務所 米国ニューヨーク州弁護士 阿達 雅志 氏 米国ニューヨーク州弁護士 小野 美恵 氏
11月19日(水) 16:00～17:30	『 <a href="#">デフレ脱却後の日本経済～異次元緩和の成果とリスク</a> 』 早川 英男 氏 富士通総研 経済研究所 エグゼクティブ・フェロー、元日本銀行 理事
12月3日(水) 15:30～17:00	『 <a href="#">カルビーのガバナンスとダイバーシティ～グローバル企業としての取り組み</a> 』 松本 晃 氏 カルビー 代表取締役会長 兼 CEO
12月9日(火) 15:30～17:00	『 <a href="#">『文藝春秋』と『朝日新聞』</a> 』 堤 堯 氏 元・文藝春秋 編集長、ジャーナリスト、評論家
12月12日(金) 16:00～17:30	『 <a href="#">LIXILグループのグローバル戦略とコーポレート・ガバナンス</a> 』 藤森 義明 氏 LIXILグループ 取締役 代表執行役社長 兼 CEO
12月17日(水) 16:00～17:30	『 <a href="#">イスラム国ISISが提示する新たな中東危機</a> 』 田中 浩一郎 氏 日本エネルギー経済研究所 常務理事・中東研究センター長



HOME > イベント > 講演会 > 新株価指数『JPX日経インデックス400』について

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「新株価指数『JPX日経インデックス400』について」

日時	2014年1月17日(金) 15:00~16:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	田中 大介 氏(東京証券取引所 情報サービス部 商品運用企画グループ グループ長)

#### ■ 概要

日本取引所グループ、東京証券取引所、日本経済新聞社は、新たな株価指数「JPX日経インデックス400」を、2014年1月6日より算出しています。本指数は、政府の成長戦略「日本再興戦略」に組み入れられていたもので、資本効率を示すROE(株主資本利益率)が構成銘柄選定に大きなウエイトを占め、2人以上の独立社外取締役の選任が加算要素となるなど、他の株価指数と異なる特徴を持っています。この新指数は他の指数とどう違うのか、海外の株価指数を比較するとどうなのか、様々な疑問があると思われます。そこで本講演会では、東京証券取引所の指数担当の責任者にお越しいただき、本指数の解説をいただくとともに、本問題の識者を交えて参加者と意見交換を行います。

※本講演会では、東証からの解説は30分程度とし、その後、本問題の識者(コメンテーター)から代表的な質問をしていただいた後に、参加者の皆様からの質疑応答を行うという、双方向型の講演会を指向しています。

#### ■ 出演者紹介

◎田中 大介(たなか・だいすけ)  
東京証券取引所 情報サービス部 商品運用企画グループ グループ長

1997年東京大学経済学部卒業後、株式会社東京証券取引所入社。  
債券部、上場部等を経て、2004年より現職。ミシガン大学経営大学院(MBA)。



HOME > イベント > 講演会 > コモンズ投信の投資についての考え方～ガバナンスの視点を交えて

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「コモンズ投信の投資についての考え方～ガバナンスの視点を交えて」

日時	2014年1月29日(水) 16:00～17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	渋澤 健 氏(コモンズ投信 取締役会長)

#### ■ 概要

コモンズ投信は「30年目線の世代を超える長期投資」を、グローバル企業を中心に「30銘柄程度厳選」し、「企業との対話を重視」して行うという他に類を見ない投資スタイルをとっています。  
コモンズ投信にとって、株式運用の成功は「持続的に企業価値を創造する会社に長く投資をすること」につきるとのこと。長期的な視点においては、コーポレート・ガバナンスは大きな要素です。長期視点で、銘柄を絞り込む厳選投資を行う同社にとって、投資先企業のコーポレート・ガバナンスをどうとらえているのでしょうか。投資対象となるためには、企業は何をすればよいのでしょうか。  
本講演会では、コモンズ投信の会長で「渋沢栄一の孫の孫」でもある渋澤健氏から、同社の取り組みと、投資方針を「コーポレート・ガバナンス」と「論語と算盤」の視点を交えながらお話しいたします。

#### ■ 出演者紹介

◎渋澤 健(しぶさわ・けん)  
コモンズ投信株式会社 取締役会長

テキサス大学化学工学部卒業。

1984年に(財)日本国際交流センター入職、1987年にUCLA大学経営大学院にてMBAを取得。JPモルガン、ゴールドマン・サックスなど米系金融機関、

大手ヘッジファンドのムーア・キャピタル・マネジメントを経て、2001年シブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業。

2007年コモンズ株式会社(現コモンズ投信)を創業し、2008年会長に就任、現在に至る。2012年5月に日本国際交流センター理事長に就任。

「日本資本主義の父」と言われる渋沢栄一の5代目の孫にあたり、「論語と算盤」の提唱を現代に問いかけ、21世紀における資本主義や社会の持続性、経済活動と公益活動を両輪とする民間の力の重要性などを説く講演・執筆活動に従事する。

2004年より経済同友会幹事。また、渋沢栄一記念財団理事など多くの非営利組織の理事・評議員を務める。

著書に、『日本再起動』(東洋経済新報社・2011年)、『渋沢栄一 明日を生きる100の言葉』(日本経済新聞出版社・2013年)等がある。

1961年生まれ。



## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「日立の経営改革とコーポレート・ガバナンス」

日時	2014年2月3日(月) 15:00～16:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	川村 隆 氏(日立製作所 取締役会長)

#### ■ 概要

日立製作所は2008年度の決算で当期純利益8000億円の赤字決算を強いられた。当該赤字額は日本の製造業の最高値として今なお記録されている。この不名誉な決算を株主総会に報告したのが、急遽グループ企業から呼び戻されて会長兼社長に就任された直後の川村会長だった。それから日立製作所は素早いV字回復を実現し、近年赤字決算を強いられている他の大手電機製造会社とは際立った違いを見せている。2009年度以降川村経営陣が取り組んだ改革は、大企業病からの脱却であり、意思決定のスピード、第三者の眼、グループ企業一体経営を意識したコーポレート・ガバナンスを始めとし、真のグローバル化、人材育成、ポートフォリオ戦略等々、苦難の経営大手術である。本講演会では、勇気を以って改革を断行した経営トップ川村会長のお話を伺います。

#### ■ 出演者紹介

◎川村 隆(かわむら・たかし)  
株式会社日立製作所 取締役会長

1962年4月 日立製作所入社  
1995年6月 取締役  
1997年6月 常務取締役  
1999年4月 代表取締役 副社長  
2003年4月 取締役(2007年6月退任)  
6月 日立ソフトウェアエンジニアリング(株)  
取締役会長兼代表執行役  
2005年6月 日立プラント建設(株)  
取締役会長(2009年6月退任)  
2006年6月 日立ソフトウェアエンジニアリング(株)  
取締役会長(2007年6月退任)  
2007年6月 日立マクセル(株)  
取締役会長(2009年6月退任)  
2009年4月 日立製作所 代表執行役会長兼社長  
6月 代表執行役会長兼社長兼取締役  
2010年4月 代表執行役会長兼取締役  
2011年4月 取締役会長 (現在に至る)



HOME > イベント > 講演会 > 役員が知っておきたい国際カルテルリスクへの対応策

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「役員が知っておきたい国際カルテルリスクへの対応策」

日時	2014年2月20日(木) 16:00~17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	内海 英博 氏(TMI総合法律事務所 パートナー弁護士・米国弁護士・公認会計士・米国公認会計士)

#### ■ 概要

近時、米国やEUを中心として国際カルテルの摘発が増加しており、我が国企業も巨額の罰金/制裁金を課せられるケースが相次いでいる。また、国際カルテルに絡んだ海外での民事訴訟や日本での株主代表訴訟も増えている。この分野は、書籍を読んだだけでは、実際の運用がどのようになっているか把握することは難しい。そこで、主要国のカルテルに関する法制度の概要と、事前予防策・事後の対応策につき、この分野の経験が豊富な講師が実務に即して解説する。また、質疑応答の時間を多く設け、個別の質問に十分対応することとしたい。(講師より)

#### ■ 出演者紹介

◎内海 英博(うつみ・ひでひろ)

TMI総合法律事務所 パートナー弁護士・米国弁護士・公認会計士・米国公認会計士

88年東大法卒業、00年ハーバード大ロースクール卒業、05年から早大大学院法学研究科非常勤講師。独占禁止法、M&A、企業法務、税務関係を主な専門分野とする。独禁法では、日本企業の海外(米国、欧州、カナダ、ブラジル、豪州、中国、韓国等)での独禁法違反についての当局との対応、海外訴訟対応、それを踏まえた日本の公取委での対応、代表訴訟対策、再発予防、事前予防対策を得意とする。主要著作:「米国価格カルテル違反の法務リスクと対応策」旬刊経理情報No.1261 2010年10月他多数。



HOME > イベント > 講演会 > 第一三共の企業理念と企業価値創造～IRの視点から

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「第一三共の企業理念と企業価値創造～IRの視点から」

日時	2014年2月26日(水) 16:00～17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	近藤 成径 氏(第一三共 コーポレートコミュニケーション部IRグループ長)

#### ■ 概要

第一三共株式会社は、革新的医薬品を継続的に創出し、多様な医療ニーズに応える医薬品を提供することで、世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献することを企業理念としています。2008年にはインドのランパクシー社を傘下に収め、新薬およびジェネリック医薬品を、先進国から新興国・後進国まで幅広い皆様の、多様なニーズに応える体制を作り、現在に至ります。

長期的視野に立ち、持続的な企業価値向上を目指す取り組みと課題について、長く株式市場と向き合っているIR担当者の視点からお話しいたします。

#### ■ 出演者紹介

◎近藤 成径(こんどう・しげみち)  
第一三共株式会社 コーポレートコミュニケーション部IRグループ長

1988年3月 一橋大学商学部卒業  
1988年4月 三共株式会社入社 品川工場労務課  
1989年8月 同社 人事部開発研修課 (人事部門の立場での教育研修業務を担当)  
1998年9月 同社 広報部 (当初はメディア担当も兼務 2000年頃からIR業務専任)  
2005年9月 第一三共株式会社発足 コーポレートコミュニケーション部  
2007年4月 同社 コーポレートコミュニケーション部IRグループ長 (現在に至る)



HOME > イベント > 講演会 > アベノミクス 光と影

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「アベノミクス 光と影」

日時	2014年3月10日(月) 16:00~17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	滝田 洋一 氏(日本経済新聞社 編集委員)

#### ■ 概要

BSジャパンTV、日経新聞ビジネスリーダー「ニュースこう読む」などでお馴染みの日本経済新聞編集委員・滝田洋一氏をお招きしました。同氏は、日銀、大蔵省担当のエリート記者、論説副委員長などを経て、現在編集委員の要職を務めるエコノミストで、世界経済を読み解くのに役立つ多くの著書を出されています。出足好調のアベノミクスに対して、当初から潜在リスクへの警鐘がありましたが、年が明けてからやや不穏の兆しも見え隠れして来ました。日本経済の動向を世界視野で論理明快に解説して頂く講演会を企画しましたのでご案内申し上げます。

#### ■ 出演者紹介

◎滝田 洋一(たきた・よういち)  
日本経済新聞社 編集委員

1981年 慶應大学 大学院修士課程 法学研究科 修了  
日本経済新聞社入社 金融部

1987年 チューリヒ特派員

1995年 経済部編集委員

2007年 論説副委員長、兼経済部編集委員

2008年 米州編集総局編集委員(ニューヨーク駐在)

2009年 論説副委員長

2011年 現職

2009年3月:「08年度ボーン・上田記念国際記者賞」受賞  
世界金融危機の的確な分析、報道、解説が評価された。

#### 【主な著書】

通貨を読む(第4版)ドル・円・ユーロ・元のゆくえ 日経文庫

世界経済のオセロゲーム 日経レミアシリーズ

世界金融危機 開いたパンドラ 日経レミアシリーズ

日米通貨交渉 20年目の真実 日本経済新聞社

日本経済不作為の罪 日本経済新聞社

など

HOME > イベント > 講演会 > ビジネスパーソンが知っておくべき企業秘密～企業と個人はどう対処すべきか

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「ビジネスパーソンが知っておくべき企業秘密～企業と個人はどう対処すべきか」

日時	2014年3月13日(木) 19:00～20:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	服部 誠 氏(阿部・井窪・片山法律事務所 パートナー弁護士)

#### ■ 概要

顧客情報や技術ノウハウなどの「企業秘密」を自社の競争力の源泉の1つとする企業にとって、企業秘密をどのように適切に維持・管理していくか、特に従業員のプライバシー権や職業選択の自由との関係でどこまで管理を徹底できるかが、重要な課題となっています。また、ビジネスパーソン(企業の役職員)個人として、企業秘密の取り扱いについて迷っておられる方も多いのではないのでしょうか？

そこで、企業としては、自社の企業秘密の適切な維持、管理、拡大をどのように行っていくべきか、また、どのような管理をすれば法律(不正競争防止法)により企業秘密が保護されることになるのか、ビジネスパーソンとしては、どんなことに気を付けておいたらよいのか。本問題に積極的に取り組んでいる専門家から、最近の紛争事例を交えながら、ご解説いただきます。

#### ■ 出演者紹介

◎服部 誠(はっとり・まこと)  
阿部・井窪・片山法律事務所 パートナー弁護士

##### [略歴]

1998年 弁護士登録 阿部・井窪・片山法律事務所入所  
2001年 経済産業省知的財産政策室にて勤務(課長補佐)  
2002年-2004年 ペンシルバニア大学法学修士号、マックス・プランク知的財産研究所客員研究員等  
2003年 米国ニューヨーク州司法試験合格  
2006年-2009年 一橋大学大学院法学研究科 非常勤講師  
2007年- 慶應義塾大学理工学部(修士課程) 非常勤講師  
2009年- 工業所有権審議会試験委員(弁理士試験委員・意匠法、特許法・実用新案法担当)  
2011年-2013年 日本弁護士連合会知的財産センター事務局次長

##### [主な活動分野]

知的財産、会社法務、企業再建といった分野に関する訴訟、申立代理、依頼者からの相談等を多く担当している。知的財産の分野においては、不正競争防止法、特許、著作権、商標に関する知的財産訴訟及び契約実務に関与する。経済産業省出向時代には、国の知的財産政策の企画・立案や、不正競争防止法の改正作業に携わった経験を有する。

##### [主要著書論文]

- ・「逐条解説不正競争防止法」(共著)有斐閣
- ・「実務 企業統治・コンプライアンス講義」(「知的財産分野におけるコンプライアンス」執筆担当)民事法研究会
- ・「商標実務入門 ブランド戦略から権利行使まで」(分担執筆)民事法研究会
- ・「その論文は著作権侵害？」中山書店
- ・「職務該当性と特許を受ける権利の承継―青色発光ダイオード事件中間判決」別冊ジュリストNo.209 特許判例百選〔第4版〕 等



## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「『生きがい創造業』としてのルネサンスの事業戦略」

日時	2014年3月25日(火) 16:00~17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	堀田 利子 氏(ルネサンス 取締役専務執行役員 総務人事本部長)

#### ■ 概要

大手スポーツクラブを運営する株式会社ルネサンスは、1979年にDIC(大日本インキ化学工業)の社内ベンチャー事業として誕生しました。創業の精神を「管理された社会、物質中心になり過ぎた社会」に対する「人間性を回復する運動」と位置づけました。1980年代は、若い世代を中心としたスポーツを愛する人々が会員の中心でした。しかし、1990年代に入ると、健康を目的とした中高年の方々の参加率が年を追うごとに高まり始めました。スポーツクラブ事業が、レジャー産業から健康産業へ変遷する歴史の始まりでした。世界最速で超高齢化が進む日本において、健康寿命の延伸が国家的なテーマとなっています。医療・健康分野の市場規模が拡大する中でのルネサンスの事業戦略をお話いただきます。

※ルネサンスのボードメンバーの女性比率は25%で、ボードダイバーシティが進んだ会社として知られています。

#### ■ 出演者紹介

◎堀田 利子(ほった・としこ)  
株式会社ルネサンス 取締役専務執行役員 総務人事本部長

1975年 三井不動産株式会社入社、秘書室配属  
1978年 結婚退職  
1982年 株式会社ルネサンス入社 総務課  
1992年 総務課長  
1996年 営業サポート部長  
1998年 営業部長  
2001年 営業サポート本部長  
2002年 取締役営業本部長  
2004年 取締役常務執行役員  
2009年 取締役専務執行役員、総務人事本部長(現職)

HOME > イベント > 講演会 > トヨタ対VW(フォルクスワーゲン)

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「トヨタ対VW(フォルクスワーゲン)—2020年の覇者をめざす最強企業—」

日時	2014年4月4日(金) 15:00~17:00
場所	甲南大学ネットワークキャンパス東京(千代田区丸の内1丁目7-12 サピアタワー10F)
出演者	中西 孝樹 氏(ナカニシ自動車産業リサーチ 代表)

ご参加にあたっては、中西氏の著書(以下)を事前にお読みになられることをお勧めします。

『トヨタ対VW(フォルクスワーゲン)—2020年の覇者をめざす最強企業—』

中西 孝樹 著 日本経済新聞出版社(2013年11月)¥1,575(税込)

#### ■ 出演者紹介

◎中西 孝樹(なかにし・たかき)

株式会社ナカニシ自動車産業リサーチ 代表

(株)ナカニシ自動車産業リサーチ代表。セルサイド、バイサイドの双方で、マネジメント、クオリティ・コントロール、パブリッシング・アナリストの経験を有する。1994年以来一貫して自動車業界の調査を担当し、米国 Institutional Investor(II)誌 自動車セクターランキングで2003年から2009年まで6年連続第1位、日経ヴェリタス人気アナリストランキング自動車・自動車部品部門で2003年—2009年まで6年連続第1位と不動の地位を保った。2011年にセルサイド復帰後、II誌、日経ランキングともに自動車部門で2013年に第1位。

1986年州立オレゴン大学ビジネス学部卒。山一証券、メリルリンチ証券等を経由し、2006年からJ.P.モルガン証券東京支店株式調査部長、2009年からアライアンス・バーンスタインのグロース株式調査部長に就任。2011年にアジアパシフィックの自動車調査統括責任者として、BofAメリルリンチ日本証券に復帰。同社では、アジアパシフィックのリサーチ・リコメンデーション委員会の副議長を兼務し、リサーチ・クオリティ向上に従事した。著書に「トヨタ対VW(フォルクスワーゲン)2020年の覇者をめざす最強企業」(日経新聞出版社)、「自動車」(日経文庫)等がある。

◇[ナカニシ自動車産業リサーチホームページへのリンク](#)



## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「投資家から見たコーポレート・ガバナンス～ストーリーのあるガバナンス」

日時	2014年4月23日(水) 16:00～17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	井口 譲二 氏(ニッセイアセットマネジメント 株式運用部 コーポレート・ガバナンス・オフィサー)

#### ■ 概要

ニッセイアセットマネジメントの井口氏は、2006～2013年まで、約20人の日本株アナリストを束ねる、アナリスト・ヘッドでした。現在は、これに加え、E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)を重視する「長期投資(RI)」を株式運用に定着させる「責任者」であり、議決権行使などコーポレート・ガバナンスも担当しています。本講演会では、企業分析に対する深い経験を生かし、コーポレート・ガバナンスというファクターが、どのようにアナリストの企業価値評価に生かされているのか?、投資家から見て望ましいガバナンスとは?、統合報告書など企業レポートのあり方など、幅広い視点からコーポレート・ガバナンスについて語っていただきます。

#### ■ 出演者紹介

◎井口 譲二(いぐち・じょうじ)

ニッセイアセットマネジメント株式会社 株式運用部 コーポレート・ガバナンス・オフィサー)

日本生命入社後、マクロエコノミストとして従事。2000年からニッセイアセットマネジメントにて、株式調査/運用業務を担当。金融・素材セクター担当のアナリストを経て、2006年株式調査室長、2012年より現職。日本証券アナリスト協会企業会計委員、企業会計基準委員会専門委員(企業結合)、年金SRI研究会委員、企業報告研究会企画委員、アニュアルレポート審査委員(日経)等を務める。また、IIRCの統合報告書の翻訳にも携わる。著作に『非財務情報(ESGファクター)が企業価値に及ぼす影響』(証券アナリストジャーナル、2013年8月号)など。

HOME > イベント > 講演会 > 日本の成長を支える投資ファンドへ～日本証券業協会長からの転身

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「日本の成長を支える投資ファンドへ～日本証券業協会長からの転身」

日時	2014年5月9日(金) 16:00～17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	安東 俊夫 氏(ウィズ・パートナーズ 代表取締役社長CEO、元日本証券業協会 会長)

#### ■ 概要

成長分野に必要な資金を流す仕組みをどう整えるのか。日本が成長力を保ち、さらに高めていくうえでの大きな課題となっています。野村証券出身で日本証券業協会の会長を務めた安東俊夫氏に、独立系ファンドCEOへの転身を決意させた背景には、リスクマネーが十分に供給されない現状への危機感がありました。

安藤氏が率いるウィズ・パートナーズには、奥田碩・日本経団連元会長が顧問に名を連ねるなど、経済界からも大きな期待が寄せられています。昨年5月、創業ベンチャーのナノキャリアに投資を決め、経営陣に医薬業界の専門家を送り込むなど、着々と実績を上げつつありますが、欧米のみならず中国や韓国の追い上げも急なだけに、これからも積極的な投資戦略が求められています。

世界の潮流を知る証券・金融のプロに、わが国の成長戦略を支えるべきリスク投資の現状、投資ファンドの取り組みを語っていただきます。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎安東 俊夫(あんどう・としお)  
株式会社ウィズ・パートナーズ 代表取締役社長CEO

2000年 — 野村証券(株) 代表取締役専務就任  
2001年 — 野村ホールディングス(株) 取締役就任  
2002年 — 野村アセットマネジメント(株) 代表取締役会長就任  
2003年 — (社)投資信託協会 会長就任  
2006年 — 日本証券業協会 会長就任  
2011年 — (株)ウィズ・パートナーズ 代表取締役就任(現任)

#### 【主に歴任した公職】

金融審議会金融分科会 専門委員  
関税・外国為替等審議会 委員  
日本銀行 参与  
日本経済団体連合会 理事  
(財)国際協力医学研究振興財団 理事  
(財)日本科学技術振興財団 理事  
(独)日本学術振興会 国際生物学賞委員会 委員  
(財)認知症予防財団 理事



## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「ライフネット生命保険の挑戦とガバナンスシステム」

日時	2014年5月19日(月) 15:00~16:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	出口 治明 氏(ライフネット生命保険株式会社 代表取締役会長兼CEO)

#### ■ 概要

生命保険業界で新たな挑戦を続けているライフネット生命保険。ネット生保として事業を起すにあたって、様々な苦難があったと思われます。また、同社は上場を契機に、CEOとCOOを分離するなどコーポレート・ガバナンスを強化した体制を築きました。現在では、様々な経験を持つ独立役員6人(社外取締役3人、社外監査役3人)を擁して取締役会の運営を行っています。同社の設立(2006年10月)に関わられた代表取締役会長兼CEOの出口治明氏から、設立に至るきっかけ、事業を立ち上げてからの数々の挑戦、上場(2012年3月)、株主との対話、持続的な成長を目指すための今後の展望についてお話しいただくとともに、それを支えるコーポレート・ガバナンス、取締役会の運営についてもご紹介いただきます。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎出口 治明(でぐち・はるあき)  
ライフネット生命保険株式会社 代表取締役会長兼CEO

1948年三重県生まれ。京都大学を卒業後、1972年に日本生命保険相互会社に入社。企画部や財務企画部にて経営企画を担当。生命保険協会の初代財務企画専門委員長として、金融制度改革・保険業法の改正に従事する。ロンドン現地法人社長、国際業務部長などを経て、同社を退職。2006年に準備会社を設立し代表取締役社長に就任、2008年の生命保険業免許取得に伴い、ライフネット生命保険株式会社に商号変更。2013年6月より現職。

主な著書に、「生命保険入門 新版」(岩波書店)、「直球勝負の会社」(ダイヤモンド社)、「仕事に効く教養としての『世界史』」(祥伝社)、「部下をもつたら必ず読む『任せ方』の教科書」(角川書店)、「『思考軸』をつくれ」(英治出版)、「百年たっても後悔しない仕事のやり方」(ダイヤモンド社)など。



HOME > イベント > 講演会 > 企業がリスクテイクしやすい環境整備を考える～ドイツの企業統治改革に学ぶ

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「企業がリスクテイクしやすい環境整備を考える～ドイツの企業統治改革に学ぶ」

日時	2014年5月26日(月) 16:00～17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	木下 信行 氏(日本銀行 理事)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎木下 信行(きのした・のぶゆき)  
日本銀行 理事

1954年生まれ。77年に東京大学法学部卒、大蔵省(現財務省)に入り、東海財務局理財部長、銀行局金融市場室長、同調査課長、98年に金融監督庁官房企画課長、同銀行監督第二課長、同総務課長、金融庁総務企画局参事官、九州財務局長、06年に郵政民営化委員会事務局長、09年に証券取引等監視委員会事務局長、10年から日銀理事。12年12月に日銀金融研究所ディスカッションペーパーとして「我が国企業の低収益性の制度的背景について」を発表、日独の企業制度改革を比較して日本企業の収益回復の方途を提言している。



HOME > イベント > 講演会 > 丸紅の企業価値向上経営への取り組み

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「丸紅の企業価値向上経営への取り組み」

日時	2014年6月2日(月) 16:30～18:00
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	矢部 延弘 氏(丸紅株式会社 執行役員 経営企画部長)

#### ■ 概要

丸紅は、東京証券取引所が実施している「企業価値向上表彰」で平成25年度の「大賞」に選定されました。受賞にあたっては、(1)資本コストを意識した経営指標が積極的に活用されていることとして、資本コストを大きく上回るROE15%以上という目標を設定し、独自の経営指標である「PATRAC」を設定して、資本コストを意識した経営が実践されていること。(2)企業価値向上の取組みが組織に深く浸透していることとして、「PATRAC」に基づく業績連動報酬が導入され、経営層から一般社員に至るまで全役職員が対象となっているなど、実際に企業価値向上の取組みが組織に深く浸透していること。(3)企業価値向上の取組みとその成果に安定性が認められることとして、過去3年間のROEは18.0%、21.2%、20.7%と高水準で維持しており、企業価値向上の取組みとその成果には安定性があると認められています。こうした丸紅の企業価値向上経営の取り組みについて、同社の執行役員経営企画部長の矢部延弘氏より、コーポレート・ガバナンスを交えながらお話しいただきます。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎矢部 延弘(やべ・のぶひろ)  
丸紅株式会社 執行役員 経営企画部長

(学歴)  
1982年3月 慶應義塾大学商学部卒業

(職歴)  
1982年4月 丸紅株式会社入社  
2006年4月 財務部副部長 兼 資金課長  
2006年8月 財務部副部長  
2006年9月 食料統括部長  
2009年4月 丸紅米国会社CFO 兼 CAO  
2012年4月 執行役員、財務部長  
2014年4月 執行役員、経営企画部長

(賞罰)  
なし

現在に至る



HOME > イベント > 講演会 > セブン&アイHLDGS.9兆円企業の秘密－世界最強オムニチャネルへの挑戦

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「セブン&アイHLDGS.9兆円企業の秘密－世界最強オムニチャネルへの挑戦」

日時	2014年6月13日(金) 15:00～17:00
場所	甲南大学ネットワークキャンパス東京(千代田区丸の内1丁目7-12 サピアタワー10F)
出演者	朝永 久見雄 氏(Hidden Gems(隠れた宝石) 共同代表パートナー、大阪大学大学院経済学研究科 非常勤講師)

ご参加にあたっては、朝永久見雄氏の著書(以下)を事前にお読みになられることをお勧めします。

『セブン&アイHLDGS.9兆円企業の秘密－世界最強オムニチャネルへの挑戦』

朝永 久見雄 著 日本経済新聞出版社(2013年9月) ¥1,600+税

#### ■ 出演者紹介

◎朝永 久見雄(ともなが・くみお)

Hidden Gems(隠れた宝石) 共同代表パートナー  
大阪大学大学院経済学研究科 非常勤講師

東京三菱証券(現三菱UFJモルガン・スタンレー証券)、ドイツ証券、JPモルガン証券、シティグループ証券在籍中の2001年から2012年まで日本経済新聞のアナリストランキング小売り部門で12年連続でトップ。百貨店、コンビニ、スーパーでの現場研修を受けるなど、長年に亘り国内小売セクターを代表するアナリストとして高い評価を受ける。青山学院大学卒業後、中央信託銀行(現三井住友信託銀行)に11年間勤務し、ファンドマネージャーとして株式、債券の運用にも従事。日本経済新聞のアナリストランキング専門店小売りで3位の廣田千晶氏と共同で、2013年1月に小売業界に特化したコンサルティング会社Hidden Gems(隠れた宝石)を設立し、共同代表パートナーに就任。著書に、『セブン&アイHLDGS.9兆円企業の秘密－世界最強オムニチャネルへの挑戦』(日本経済新聞出版社、2013年9月)がある。

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「東アジアの安全保障～尖閣問題の緊迫化等」

日時	2014年6月20日(金) 14:00～16:00
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	孫崎 享 氏

#### ■ 概要

NHK、BS11、テレビ朝日などに出演でお馴染みの【孫崎 享】氏の講演会です。外務省では国際情報局局长という国家外交戦略考察の最重要ポストの一角を担うと共に諸外国での貴重な現場体験をも重ねた同氏は、霞ヶ関の画一的思考とは異なる見解を展開し、国会でも屢上りに上ったことご承知の通りです。

直近では「小説外務省～尖閣問題の正体」を書き下ろし、「戦後史の正体」(2012年出版)に次ぐベストセラーとなっています。

同氏の著作は、「日本外交～現場からの証言」第二回山本七平賞受賞始め、「日本の国境問題～尖閣・竹島・北方領土」「不愉快な現実～中国の大国化・米国の戦略転換」等多数あり、早くから日本の外交政策に警鐘を鳴らして来られました

同氏は各方面から引っ張り蛸で、ご多忙を極めて居られますが、CGネットでの前回の講演(2012年11月)の実績を踏まえ、此度も直接同氏のお話を伺う機会が得られました。

今回は益々緊迫化する尖閣諸島問題を始め、外交に対する正しい実践的対応の在り方を中心に、国家の安全保障の本質をお話頂きます。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎孫崎 享(まごさき・うける)

1943年旧満州国鞍山生まれ。1966年東京大学法学部中退、即外務省入省。

英国、ソ連、米国(ハーバード大学国際問題研究所研究員)、イラク、カナダ(公使)勤務を経て、駐ウズベキスタン大使、国際情報局長、駐イラン大使を歴任。2002年より防衛大学校教授。

2009年3月退官後は、城西国際大学・大学院、筑波大学の講師を務める傍ら、東アジア共同体研究所所長を務める。

<著書>

『日本外交—現場からの証言—』(第二回山本七平賞受賞、中央公論新社)、

『日米同盟の正体』

『情報と外交』

『日本の領土問題～尖閣・竹島・北方領土』

『不愉快な現実～中国の大国化・米国の戦略転換』

『戦後史の正体』

『アメリカに潰された政治家たち』

『日本を疑うニュースの論点』

『小説外務省～尖閣問題の正体』等々。



HOME > イベント > 講演会 > 最近の朝鮮半島情勢

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「最近の朝鮮半島情勢」

日時	2014年7月1日(火) 15:00～16:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	高野 紀元 氏(伊藤忠商事 顧問、元韓国大使)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎高野 紀元(たかの・としゆき)  
伊藤忠商事 顧問、元韓国大使

#### 学歴

昭和42年 3月 東京大学教養学部卒業

#### 職歴

昭和42年 4月 外務省入省  
昭和58年 2月 国際連合局軍縮課長  
昭和58年12月 外務大臣秘書官  
昭和61年10月 アジア局北東アジア課長  
昭和62年11月 在アメリカ合衆国日本大使館 参事官  
平成 2年 2月 大臣官房人事課長  
平成 4年 5月 アジア局参事官  
平成 6年 2月 北米局審議官  
平成 8年 1月 駐大韓民国特命全権公使  
平成 9年 7月 北米局長  
平成10年 7月 外務省研修所長  
平成11年 7月 国際情報局長  
平成13年 1月 駐シンガポール特命全権大使  
平成13年 8月 外務審議官  
平成14年12月 駐大韓民国特命全権大使  
平成17年 9月 駐ドイツ連邦共和国特命全権大使  
平成20年10月 外務省退官  
平成20年10月 伊藤忠商事株式会社 顧問就任

#### 賞罰

なし



HOME > イベント > 講演会 > 経団連—落日の財界総本山

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「経団連—落日の財界総本山」

日時	2014年7月7日(月) 16:00~17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	安西 巧 氏(日本経済新聞社 企業報道部 編集委員)

#### ■ 概要

造船疑獄、狂乱物価、構造汚職、リクルート事件……政治と向き合い続けてきた財界人たちの戦後70年。財界総理——。経団連会長がそう呼ばれていた時代があった。財界の意を体して政治と対峙した第2代会長・石坂泰三、政治献金の問題にスジ論で向き合った第4代会長・土光敏夫……。しかし今、そのポストに2代続けて「副会長OB」を起用せねばならぬほど、財界の人材は枯渇している。新興企業はそっぽを向き、中核の老舗企業群も余裕を失う中、「財界総本山」に明日はあるのか。一線の経済記者が肉薄する。(新潮社ホームページより)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎安西 巧(あんざい・たくみ)  
日本経済新聞社 企業報道部 編集委員

#### 【略歴】

1959年5月 福岡県北九州市生まれ  
1983年3月 早稲田大学政治経済学部政治学科卒  
1983年4月 日本経済新聞社入社 札幌支社報道課  
1985年9月 東京本社編集局産業部  
1992年3月 大阪本社編集局経済部  
1996年3月 東京本社編集局産業部  
1997年3月 同 産業部次長  
2000年3月 秘書室次長  
2002年3月 東京本社編集局産業部次長  
2005年3月 同 編集委員  
2014年3月 同 企業報道部編集委員(現任)

企業、金融機関を対象にミクロ分野を取材。

著書に「経団連—落日の財界総本山」「さらば国策産業—『電力改革』450日の迷走と失われた60年」「西武争奪—資産2兆円をめぐる攻防」。  
共著に「誰が銀行をつぶしたか」「銅マフィアの影—ドキュメント住商事件」「ゼネコン最後の攻防」「ぼくと会社と—つぼん再生」「200年企業」など。

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「公認会計士監査と公認会計士・監査審査会－コーポレート・ガバナンスの観点から」

日時	2014年7月15日(火) 16:00～17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	千代田 邦夫 氏(公認会計士・監査審査会 会長)

#### ■ 概要

監査法人の「独立性」が問われています。また、「監査の品質」については投資家の理解が必要です。監査の独立性を担保するために、監査法人と監査役の関係はどうあるべきか、そして社外取締役を含む取締役会は何を考慮しておくべきなのでしょう。

公認会計士・監査審査会(Certified Public Accountants and Auditing Oversight Board=CPAAOB)は、公認会計士法に基づき、「公認会計士試験の実施」の他、「公認会計士・監査法人に対する報告徴収と検査」、「各国における監査監督機関との連携」を行うため、2004年に金融庁に設置されました。資本市場の公正性と透明性を高めることを使命として、投資家の信頼向上に取り組んでおり、公認会計士業界の独立性と誠実性の検証を通して、その強みが継続して存在していることを再確認することが役割とも言えます。

本講演会では、日本における公認会計士監査の歴史から始まり、現在の監査法人の課題、監査法人と監査役との関係、取締役会・社外取締役への期待、監査論からみたコーポレート・ガバナンス等について、同審査会の千代田邦夫会長からお話しいたします。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎千代田 邦夫(ちよだ・くににお)  
公認会計士・監査審査会 会長

1966年早稲田大学第一商学部卒、同大学院商学研究科修士課程修了。鹿児島経済大学、立命館大学、熊本学園大学大学院、早稲田大学大学院会計研究科教授を経て、現在公認会計士・監査審査会会長、経営学博士、公認会計士

#### 著書

『闘う 公認会計士－アメリカにおける150年の軌跡』中央経済社、2014年3月  
『新版 会計学入門－会計監査の基礎を学ぶ』(第3版)、中央経済社、2014年2月  
『監査役に何ができるか?』(第2版)、中央経済社、2013年3月  
『貸借対照表監査研究』中央経済社、2008年1月  
『日本の会計』上海财经大学出版社、2006年4月  
『課長の会計道』中央経済社、2004年4月  
『アメリカ監査論－マルチディメンショナル・アプローチとリスク・アプローチ』中央経済社、1994年12月  
『アメリカ監査制度発達史』中央経済社、1984年3月 他

日経・経済図書文化賞、日本会計研究学会太田賞  
日本内部監査協会青木賞、日本公認会計士協会学術賞、辻 真会計賞



HOME > イベント > 講演会 > 日中関係と日本のこれから～日本企業の進路

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「日中関係と日本のこれから～日本企業の進路」

日時	2014年7月24日(木) 14:00～15:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	丹羽 宇一郎 氏(前・伊藤忠商事社長・会長、前・特命全権中国大使)

#### ■ 概要

大企業の経営トップから中国大使という異例の重要外交官に任じられた講師から「これからの日中関係」のあり方に関し直接お話を伺う講演会を企画しました。

丹羽宇一郎氏は伊藤忠商事・社長時代に業績のV字回復を果たし、更に過去最高益を記録するという偉業を達成されました。2010年には同社を退社した上で特命全権大使として中国に駐劄され、在任中に尖閣諸島問題が緊迫化するなど、至難の外交最前線も体験されました。

国際社会での中国の存在感が増す中で、益々緊張高まる日中関係ですが、企業にとっては中国市場の巨大さは変わることはなく、適切なリスク・マネジメントの再確認が問われています。

財界と外交のリーダーを務めた稀有な貴重体験から得られた講師の識見が提唱する日中関係のあり方、日本企業の取り組みへのご助言など明快なお話しをお伺い致します。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎丹羽 宇一郎(にわ・ういちろう)  
伊藤忠商事名誉理事、早稲田大学特命教授など

1962年 名古屋大学法学部卒業、伊藤忠商事入社  
1998年 伊藤忠商事社長  
2004年 伊藤忠商事会長  
2006年 経済財政諮問会議民間議員  
2007年 地方分権改革委員会委員長  
2010年 中華人民共和国駐劄特命全権大使  
2012年 12月退官、伊藤忠商事名誉理事  
2013年 早稲田大学特命教授

#### 主な著作

「人は仕事で磨かれる」 文春文庫  
「汗出せ、知恵出せ、もっと働け」 文藝春秋  
「新・日本改革論」 日経BP  
「負けてたまるか！若者のための仕事論」 朝日新書  
「北京烈日」 文藝春秋  
「負けてたまるか！リーダーのための仕事論」 朝日新書

HOME > イベント > 講演会 > 新規産業創出の試み

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「新規産業創出の試み」

日時	2014年9月2日(火) 16:00～18:00
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	村井 勝 氏(一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ 最高顧問・ファウンダー)

#### ■ 概要

「日本の起業家支援の現状」に関して、TXアントレプレナーパートナーズ最高顧問村井勝氏による講演会を開催いたします。  
アベノミクス第三の矢「成長戦略」の成功は、新規産業の創出にかかっているとされます。世界最大の特許出願数を誇る技術大国日本(米国二位、中国三位・WIPO Statistics Database Oct.2012)だが、その技術力を生かした起業活動は、他の先進諸国より大きく後れをとっています。その背景と課題の克服をお話し頂きます。  
講師は、IBM米国・日本、コンパック日本法人社長など先端技術企業の最前線で要職を務めた貴重な体験を生かして、ベンチャー企業育成活動を現在幅広く行って居られます。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎村井 勝(むらい・まさる)  
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ 最高顧問・ファウンダー

1962年 米カリフォルニア大学ロスアンゼルス校(UCLA)  
アンダーソンスクールにてMBA取得  
その後 米IBMに入社  
帰国後日本IBMに転籍、日本初のオンラインバンキングシステム開発  
1982年 IBMアメリカ/極東地区本社部長  
日本IBM通信事業統括本部長  
1991年 日本IBM退社、コンパックコンピュータ日本法人設立、社長に就任。  
1998年、同社退社、ベンチャー企業育成活動開始  
現在に至る。  
上場企業の非常勤取締役やベンチャー企業の取締役、顧問なども兼務。

その他 アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー・ジャパン(EOY)初代審査  
委員長3期  
日米国商工会議所理事  
外資系情報産業研究会会長

主な著書:「会社の“強み”が企業を壊すとき」日本経済新聞出版社  
「世界で勝て！」共著 徳重徹、村井勝 ヒカルランド

◇[一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ・ホームページ](#)



HOME > イベント > 講演会 > 第三者委員会とコーポレート・ガバナンス

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「第三者委員会とコーポレート・ガバナンス」

日時	2014年9月12日(金) 16:00~17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	久保利 英明 氏(第三者委員会報告書格付け委員会 委員長、日比谷パーク法律事務所 代表パートナー 弁護士)

#### ■ 概要

企業不祥事が発生するたびに「第三者委員会」が設置され、調査報告書が発表されています。しかし、調査報告書のレベルは様々であり、中には評価に疑問符がつくようなものが散見されます。

このような中、「第三者委員会報告書格付け委員会」は第三者委員会の調査報告書を「格付け」して公表することにより、調査に規律をもたらし、第三者委員会及びその報告書に対する社会的信用を高めることを目的として設立されました。すでに、第1回として、みずほ銀行が設置した「提携ローン業務適正化に関する特別調査委員会」が公表した調査報告書に対する格付けがなされています。結果は、A、B、C、Dの4段階(Fは不合格)でCとDに各委員の格付けが集中するという厳しいものでした。第2回として、リソー教育が設置した「株式会社リソー教育第三者委員会」の調査報告書について8月下旬に格付けを行うと発表されています。

本講演会では、本委員会の設立の経緯、目的、運営、二つの調査報告書の格付け結果について、委員長を務める久保利英明弁護士から解説いただきます。

◇[「第三者委員会報告書格付け委員会」ホームページ](#)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎久保利 英明(くぼり・ひであき)  
第三者委員会報告書格付け委員会 委員長  
日比谷パーク法律事務所 代表パートナー 弁護士

⇒[略歴はこちら\(PDFファイル\)](#)



HOME > イベント > 講演会 > 医療関係機関の不祥事に見るガバナンス～理研、タケダ、ノバルティスの事例に学ぶ

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「医療関係機関の不祥事に見るガバナンス～理研、タケダ、ノバルティスの事例に学ぶ」

日時	2014年9月30日(火) 16:00～17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	上 昌広 氏(東京大学医科学研究所 先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携研究部門 特任教授)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎上 昌広(かみ・まさひろ)  
東京大学医科学研究所  
先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携研究部門  
特任教授

93年東大医学部卒。97年同大学院修了。医学博士。  
虎の門病院、国立がんセンターにて造血器悪性腫瘍の臨床研究に従事。  
05年より東大医科研探索医療ヒューマンネットワークシステム(現 先端医療  
社会コミュニケーションシステム)を主宰し医療ガバナンスを研究。



## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「上場会社としてのJPXの戦略とコーポレート・ガバナンス」

日時	2014年10月10日(金) 16:00~17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	多賀谷 彰 氏(日本取引所グループ 広報・IR部長)

#### ■ 概要

東京証券取引所、大阪取引所等を傘下に置く、持ち株会社の日本取引所グループ(JPX)は、東証一部上場会社です(証券コード8697)。日本の証券市場という公共インフラとしての使命を子会社である金融商品取引所、自主規制法人等が果たすことを通じて、公共性と収益性のバランスのもと堅実な利益を確保することを目指しています。

同社は、経営の監督と業務執行に係る権限と責任の明確化を図るため、委員会設置会社を選択しており、経営の透明性及びアカウンタビリティの向上を図り、業務執行の妥当性を監督する機能を強化するため、取締役14名のうち8名が社外取締役となっています。

上場会社として、コーポレート・ガバナンス体制を確立し、企業価値・株主価値向上に戦略をもって臨んでいる立場にあります。本講演会では、上場会社としてのJPXの戦略と、それを支えるコーポレート・ガバナンス体制、取り組みについて同社のIR責任者である多賀谷部長に説明いただきます。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎多賀谷 彰(たがや・あきら)  
株式会社日本取引所グループ 広報・IR部長

1990年 東京証券取引所入所  
2004年 秘書室秘書役  
2007年 派生商品部総務企画グループリーダー  
2011年 マーケット営業部課長  
2012年 渉外広報部長  
2013年 株式会社日本取引所グループ 広報・IR部長(現職)

HOME > イベント > 講演会 > 森ビルの街づくり～都市をつくり都市を育む～

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「森ビルの街づくり～都市をつくり都市を育む～」

日時	2014年10月17日(金) 16:00～17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	河野 雄一郎 氏(森ビル 取締役常務執行役員 都市政策企画室・秘書室・広報室担当)

#### ■ 概要

次々と斬新な視点で都市開発を行っている森ビル。最近オープンし話題となった「虎ノ門ヒルズ」を始めとして、大型再開発施設である「アークヒルズ」や「六本木ヒルズ」、商業施設の「ラフォーレ原宿」や「表参道ヒルズ」の運営などで知られています。揺るぎないビジョンを軸に、スピード感を持って挑戦を続け、新たな時代を切り拓いている森ビルですが、2012年に亡くなるまで長らくトップを務めた実質的な創業者の森稔の夢は何だったのか、それを実現していく上で障害をどう克服したのか、森稔氏亡き後いかに経営理念を引き継いでいったのか、国際都市東京を考える上で、先陣を切っておられる森ビルについて様々な疑問が湧いてきます。本講演会では、森稔氏の秘書を長く務め、都市政策企画室を担当されている河野常務に、森ビルの街づくりについて、同社のビジョンを交えながらお話しいただきます。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎河野 雄一郎(こうの・ゆういちろう)  
森ビル株式会社 取締役常務執行役員 都市政策企画室・秘書室・広報室担当

#### 【略歴】

1985年(昭和60年)3月 駒沢大学経済学部 修了  
 1985年(昭和60年)4月 森ビル株式会社 入社  
 1987年(昭和62年)8月 六本木六丁目再開発事業(六本木ヒルズ)権利調整・行政協議担当  
 1998年(平成10年)11月 社長室企画調査担当  
 1999年(平成11年)1月 秘書室長  
 2006年(平成18年)8月 取締役秘書室長  
 2009年(平成18年)1月 広報室長 兼務、9月 常務取締役 秘書室・広報室担当  
 2011年(平成21年)6月 取締役常務執行役員 秘書室・広報室担当  
 2013年(平成25年)7月 取締役常務執行役員 都市政策企画室・秘書室・広報室担当

HOME > イベント > 講演会 > 私の半生～客室乗務員から弁護士、そして社外役員へ

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「私の半生～客室乗務員から弁護士、そして社外役員へ」

日時	2014年10月22日(水) 16:00～17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	志賀 こず江 氏(白石綜合法律事務所 パートナー・弁護士)

#### ■ 概要

(以下のような、志賀氏の半生をお話しいたします)。  
 高校卒業後、日本航空の国際線スチュワーデスとして約2年間勤務したのち、21歳で職場結婚をし、退職。専業主婦となるも、全盲になった実母の介護を続けながら慶應義塾大学法学部通信課程で4年間法律を学ぶ。  
 卒業後司法試験に挑戦を始め、13年かけて1990年合格。1993年検事に任官。  
 横浜地検、川崎支部、東京地検を経て、1998年に退官、弁護士登録(第一東京弁護士会)。現在は白石綜合法律事務所で弁護士として、とくに被害者支援の活動に力を注ぐ。特種東海製紙、東横イン、新生銀行の3社の社外役員として活躍中。  
 (著書:「ほかの誰でもない私をさがして スチュワーデス、弁護士になる」の著者紹介を参考にして)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎志賀 こず江(しが・こずえ)  
 白石綜合法律事務所 パートナー・弁護士

##### 【経歴】

1948年11月 東京都で出生  
 1967年 3月 東京都立白鷗高等学校卒業  
 同年11月 日本航空株式会社入社  
 1969年12月 結婚のため退職  
 1973年 4月 慶應義塾大学法学部通信教育課程入学  
 1977年 3月 同校卒業  
 1990年11月 司法試験合格  
 1991年 4月 司法研修所入所(修習45期)  
 1993年 4月 検事任官(横浜地検・東京地検等歴任)  
 1998年 4月 弁護士登録(第一東京弁護士会)  
 2004年 6月 日本興亜損害保険株式会社社外監査役  
 2005年 6月 カブドットコム証券株式会社社外取締役  
 2007年 3月 FXプライム株式会社社外監査役  
 2007年 4月 特種東海製紙株式会社社外監査役(現職)  
 2009年 9月 株式会社東横イン社外取締役(現職)  
 2010年 6月 株式会社新生銀行社外監査役(現職)

##### 【著書】

・ほかの誰でもない私をさがして スチュワーデス、弁護士になる(講談社)  
 ・15歳からの「仕事」の教科書 弁護士のしごと(丸善)  
 他



HOME > イベント > 講演会 > メディアにガバナンスはあるのか？～朝日新聞社の2大誤報炎上問題で現役ジャーナリストが問う

## 講演会

[→イベントトップ](#)

「メディアにガバナンスはあるのか？  
～朝日新聞社の2大誤報炎上問題で現役ジャーナリストが問う」

日時	2014年10月30日(木) 16:00～17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	牧野 義司 氏(経済ジャーナリスト、メディアオフィス「時代刺激人」代表)

### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎牧野 義司(まきの・よしじ)  
経済ジャーナリスト、メディアオフィス「時代刺激人」代表

毎日新聞20年、ロイター通信15年の経済記者経験をベースに「生涯現役の経済ジャーナリスト」を公言して現場取材に走り回る。先進モデル事例となる人物などをメディア媒体で取り上げ、閉そく状況の日本を変えることがジャーナリストの役割という立場。アジア開発銀行研究所や日本政策金融公庫、政府から独立の国会東電原発事故調査委員会にもメディアコンサルティングでかかわった。日本社会システムデザイン研究所フェロー、NPO失敗学会などのメンバー。メディアオフィス「時代刺激人」代表。1968年早稲田大学大学院卒。

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「グローバル時代の危機管理: 鍵を握る内部調査」

日時	2014年11月7日(金) 16:00~17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	ポール・ワイス・リフキンド・ワートン・ギャリソン外国法事務弁護士事務所 米国ニューヨーク州弁護士 阿達 雅志 氏 米国ニューヨーク州弁護士 小野 美恵 氏

#### ■ 概要

どんなにしっかりしたコンプライアンス体制を確立しても、コンプライアンスの問題は生じます。違反の重大さを見極め、適切な危機管理を行うために「内部調査」は不可欠です。中途半端な内部調査が事態を悪化させた例は枚挙に暇がありません。米国では経営陣のコンプライアンス意識の高まりと共に、効果的な内部調査の手法が探求されてきました。日本企業はこれまで主に日本流の社内調査で対応してきたものと思われませんが、ビジネスのグローバル化に伴い、海外の独禁法、贈収賄防止法、経済制裁法事案に巻き込まれるリスクも増えています。各国の司法当局、行政当局は調査協力を進めており、国内向けの対応のみではもはや十分とはいえません。第三者調査委員会報告書格付け委員会の活動からも示唆されるように、本邦においても、米国流の徹底した内部調査が信頼回復のために求められつつあります。本講演会では、日本企業の危機対応において大いに参考となる米国流の「内部調査」のポイントを説明いただきます。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎阿達 雅志(あだち・まさし)

1983年東京大学法学部卒業(B.A.)。ニューヨーク大学にて1992年にM.C.J.を、1993年にLL.M.を取得。在学中はニューヨーク大学 Law Journal of International Law and Politicsの編集員として活躍。ニューヨーク州登録弁護士。

海外駐在の7年も含め、大手日系商社で17年間にわたって勤務。M&A、合併、リストラクチャリング、プロジェクト・ファイナンス案件、船舶融資及びセキュリティゼーション等のプロジェクトに加え、訴訟や仲裁による紛争解決、コンプライアンス、危機管理等、幅広い国内外の案件を担当。衆議院議員秘書として活動の後、ポール・ワイス・リフキンド・ワートン・ギャリソンLLPIに入所。

◎小野 美恵(おの・みえ)

1997年東京大学法学部卒業(B.A.)。コロンビア大学にて2005年にLL.M.を取得。ニューヨーク州登録弁護士。

ポール・ワイスのニューヨーク・オフィス及び東京オフィスにおいて、クロスボーダーM&A、企業再編、非公開化、証券発行を中心とする様々なコーポレート案件に従事。また米国規制当局に関する内部調査にも複数関与している。



HOME > イベント > 講演会 > デフレ脱却後の日本経済～異次元緩和の成果とリスク

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「デフレ脱却後の日本経済～異次元緩和の成果とリスク」

日時	2014年11月19日(水) 16:00～17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	早川 英男 氏(富士通総研 経済研究所 エグゼクティブ・フェロー、元日本銀行 理事)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎早川 英男(はやかわ・ひでお)  
株式会社富士通総研 経済研究所 エグゼクティブ・フェロー  
元)日本銀行 理事

1977年3月 東京大学経済学部卒業

1977年4月 日本銀行入行

1983年 - 1985年 米国プリンストン大学大学院(経済専攻)留学(MA取得)

2001年2月 日本銀行 調査統計局長

2007年6月 日本銀行 名古屋支店長

2009年3月 日本銀行 理事

2013年4月 (株)富士通総研 経済研究所 入社



HOME > イベント > 講演会 > カルビーのガバナンスとダイバーシティ〜グローバル企業としての取り組み

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「カルビーのガバナンスとダイバーシティ〜グローバル企業としての取り組み」

日時	2014年12月3日(水) 15:30~17:00
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	松本 晃 氏(カルビー株式会社 代表取締役会長 兼 CEO)

#### ■ 概要

1949年に広島にて設立されたカルビー(当時・松尾糧食工業)は同族会社でした。2005年に外部から経営者を招聘し、同族経営から脱した後、2009年のペプシコとの業務・資本提携などのグローバル展開を行うとともに、2011年3月の上場以降、目覚ましい発展を遂げています。グローバル企業として、コーポレート・ガバナンスやダイバーシティの向上にも取り組んでおり、取締役7名のうち、過半数の5名を社外取締役にするなど先進的な体制をとっています。ボード・ダイバーシティの視点では、社外取締役のうち2名が外国人、うち女性が1名となっています。執行役員にも女性が4名おり、管理職層も含めた様々なダイバーシティの推進活動を展開しています。本講演会は、ジョンソン・エンド・ジョンソンの日本法人社長を9年間務めた後、2009年からCEOに就かれている松本晃氏に、同社のグローバル企業としてのコーポレート・ガバナンスとダイバーシティについてお話しいたします。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎松本 晃(まつもと・あきら)  
カルビー株式会社 代表取締役会長 兼 CEO

1947(昭和22)年7月20日生 京都市出身

##### 【学歴】

1970年 京都大学 農学部 卒業

1972年 京都大学大学院 農学部 修士課程 修了

##### 【職歴】

1972年~1992年 伊藤忠商事株式会社

1986年~1992年 センチュリーメディカル株式会社(100%伊藤忠商事(株)出資会社) 出向 取締役営業本部長

1993年~1998年 ジョンソン・エンド・ジョンソン メディカル株式会社(現ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)) 代表取締役プレジデント エチコン エンドサー  
ジェリー・ジャパン 事業本部長

1999年~2007年 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 代表取締役社長

2008年~2009年3月 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 最高顧問

2009年6月~ カルビー株式会社 代表取締役会長兼CEO(6月24日就任、現在に至る)

##### 【公職】

2005年9月~2011年10月 中央社会保険医療協議会専門委員

2008年4月~ 国立大学法人東北大学 未来医工学治療開発センター 客員教授

2009年4月 米国医療機器・IVD 工業会(AMDD)顧問

2009年5月~ 特定非営利活動法人日本から外科医がいなくなることを憂い行動する会 理事長

2009年11月~ 京都府東京経済人会 会長

2012年4月~ 地方独立行政法人長崎市立病院機構 副理事長



HOME > イベント > 講演会 > 「文藝春秋」と「朝日新聞」

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「『文藝春秋』と『朝日新聞』」

日時	2014年12月9日(火) 15:30~17:00
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	堤 堯 氏(元・文藝春秋 編集長、ジャーナリスト、評論家)

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎堤 堯(つつみ・ぎょう)  
ジャーナリスト、評論家  
元)文藝春秋 編集長

1936年生まれ。

1961年、東京大学法学部卒業。文藝春秋に入社し、『諸君!』『文藝春秋』各誌の編集長、『週刊文春』編集局長、出版総局長などを歴任、常務、常任顧問を経て退社。

月刊誌『WILL』に久保絃之との対談「蒞弱問答」や「ある編集者のオデッセイ」など連載するほか『東京スポーツ』にもコラム「阿呆の遠吠え」を連載。

#### 著書

『昭和の三傑—憲法九条は「救国のトリック」だった』(集英社、2004年)

『阿呆の遠吠え』(東京スポーツ新聞社、2005年)



## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「LIXILグループのグローバル戦略とコーポレート・ガバナンス」

日時	2014年12月12日(金) 16:00~17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	藤森 義明 氏(株式会社LIXILグループ 取締役 代表執行役社長 兼 CEO)

#### ■ 概要

株式会社LIXILグループ(旧・住生活グループ)は、サッシ・建材・住宅機器メーカーを傘下とする持株会社です。2001年にトステムとINAXの合併に端を発して、その後、様々なM&Aを行い現在の会社形態になっています。

2013年には、GEの日本法人トップを務めていた藤森義明氏をCEOに迎え、グローバル展開を加速しています。グローバル企業で25年間渡り歩いてきた人物がCEOとなり、ドメスティックな会社だったLIXILはグローバル企業に転換しました。M&Aを通じた海外事業展開の拡大と国内市場におけるポジションの強化から、2020年までに海外売上高を1兆円に伸ばすという目標に向けて動き出しています。

また、同社は委員会設置会社を採用して(取締役10名のうち4名が社外取締役)、グローバル企業として、コーポレート・ガバナンスの構築にも力を注いでいます。本講演会では、LIXILグループでCEOを務める藤森氏から同社のグローバル戦略と、それを支えるコーポレート・ガバナンスの取り組みについてお話しいたします。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎藤森 義明(ふじもり・よしあき)  
株式会社LIXILグループ 取締役 代表執行役社長 兼 CEO

生年月日  
昭和26年7月3日(63歳)

学歴  
昭和50年 東京大学 工学部 卒業  
昭和56年 カーネギーメロン大学 MBA取得

職歴  
昭和50年 4月 日商岩井株式会社(現 双日株式会社)入社  
昭和61年10月 日本ゼネラル・エレクトリック株式会社入社  
平成 9年 9月 ゼネラル・エレクトリック・カンパニー カンパニー・オフィサー  
平成13年 5月 ゼネラル・エレクトリック・カンパニー シニア・バイス・プレジデント  
平成20年10月 日本ゼネラル・エレクトリック株式会社 取締役会長 兼 社長 兼CEO(代表取締役)  
平成23年 8月 株式会社住生活グループ(現 株式会社LIXILグループ) 取締役 代表執行役社長 兼 CEO(現任)  
(兼 株式会社LIXIL 代表取締役社長 兼 CEO)  
平成24年 6月 東京電力株式会社 社外取締役(現任)

主な公職  
平成19年~ カーネギーメロン大学 ボードオブトラスティー  
平成23年~ 公益社団法人経済同友会 副代表幹事 経済連携委員会 委員長  
平成26年~ 一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 会長



HOME > イベント > 講演会 > 「イスラム国ISISが提示する新たな中東危機」

## 講演会

[→イベントトップ](#)

### 「イスラム国ISISが提示する新たな中東危機」

日時	2014年12月17日(水) 16:00~17:30
場所	日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク会議室(港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル12F)
出演者	田中 浩一郎 氏(日本エネルギー経済研究所 常務理事・中東研究センター長)

#### ■ 概要

イスラム国(ISIS)の出現で一層の混迷に陥った中東の最新情勢と、日本のエネルギー国家戦略に与える影響を、分かり易く解説して頂く講演会を企画しましたので、ご案内いたします。

講師はNHK報道番組等でお馴染みの日本エネルギー経済研究所の常務理事田中浩一郎中東研究センター長です。同氏には2012年にご出講賜り、当時ホルムズ海峡封鎖かと、世界が不安を抱えた「緊迫するイラン情勢」に関し極めて明快な解説をして下さいました。シリアの内戦に端を発し出現したイスラム国で世界中が不安を抱える最中、大国イランを取り巻く新しい情勢と、原油価格急落という激動の時勢となり、ご多忙を極めておられます中でのご登壇となります。

#### ■ 出演者紹介(敬称略)

◎田中 浩一郎(たなか・こういちろう)  
一般財団法人日本エネルギー経済研究所 常務理事・中東研究センター長

専門分野: 西アジア地域の紛争予防及び平和構築、現代イランの政治情勢  
およびアフガニスタン情勢

1985年 東京外国語大学外国語学部ペルシア語学科卒業  
1988年 東京外国語大学大学院アジア第2言語修了  
1989年 在イラン日本国大使館 専門調査員  
1992年 財団法人 中東経済研究所 副主任研究員  
1998年 財団法人 中東調査会 客員研究員  
1999年 外務省中近東・アフリカ局中近東第2課 課長補佐  
1999年 国連アフガニスタン特別ミッション 政務官  
2001年 財団法人 国際開発センター エネルギー・環境室 主任研究員  
2004年 財団法人 中東経済研究所 主席研究員  
2005年 財団法人 日本エネルギー経済研究所 中東研究センター 研究主幹  
2006年 財団法人 日本エネルギー経済研究所 中東研究センター長 兼 研究理事  
2008年 同 理事  
2012年 同 常務理事

#### [教歴]

大東文化大学国際関係学部 非常勤講師(1993年度)  
外務省研修所 講師(1993年&1994年)  
東京外国語大学外国語学部 非常勤講師(1994年度-1997年度、2003年度)  
紛争予防市民大学院セミナー 講師(2002年度-2005年度)等